

## 国家戦略の視点から見た科学技術イノベーションを支える人材の育成（論点メモ）

### 1. 問題の所在

- (1) 教育～グローバル化への対応の遅れ
- (2) 研究～産業競争力、基礎研究力（論文指標）の低下
- (3) 人材の活用～システムのガラパゴス化（例えば、ポストク制度の歪み）

### 2. 基本的な考え方

- (1) 世界トップレベルの大学
  - 専門分野別の研究レベルの卓越性～大学の統廃合も視野に
  - 世界からの研究人材の集積～学内組織の再編成、マネジメント力
  - 最優秀の海外留学生の獲得～重点への資源投入
- (2) 国際的な頭脳循環～グローバル化に対応した教育システム
- (3) 国家戦略～明確な政治的意思

### 3. 重点的に取り組むべき課題

- (1) 教育
  - 大学の機能強化～グローバル化への対応
  - 教育の質を確保するシステム改革（分野別質保証、学習成果の評価、教員の教育力審査）
  - 大学院教育カリキュラムの標準化
- (2) 研究
  - 世界をリードする研究大学（Research University）の形成
  - ポストク制度の見直し
- (3) 人材の活用
  - 博士のキャリアパスの多様化
  - 博士課程学生への経済的支援の充実
  - 留学生30万人計画の加速化
  - 若手人材活用のための新たな社会システムの創出